

令和5年度第3回八街市地域公共交通協議会 議事要旨

開催日時	令和5年12月27日（水）午前10時00分から午前10時50分
開催場所	八街市役所 第4庁舎 1階 第4会議室
参加人数	21人
事務局	<p>1. 開会</p> <p>定刻となりましたので、令和5年度第3回八街市地域公共交通協議会を開会いたします。</p> <p>私、進行を務めさせていただきます企画政策課企画政策係 齋藤と申します。</p> <p>最初に、事前に送付いたしました資料の確認をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和5年度第3回八街市地域公共交通協議会次第 ②資料1「令和5年度（令和4年10月－令和5年9月）地域内フィーダー系統確保維持事業に係る事業評価について」 ③資料2「八街市デマンド型乗合タクシー実証運行事業について」 ④資料3「バスの乗り方・交通バリアフリー教室（報告）」 ⑤八街市地域公共交通協議会規約 ⑥令和5年度八街市地域公共交通協議会委員名簿 ⑦令和5年度第3回八街市地域公共交通協議会席次表 <p>でございます。不足資料がございましたらお申し出ください。</p> <p>次に、本日の出席者は代理出席者1名を含めまして委員27名中、21名でございます。過半数に達しておりますので、本日の協議会は成立となります。</p> <p>なお、淑徳大学松野教授におかれましては、WEBでの参加となっております。</p> <p>それでは本日の協議会を開催いたします。</p> <p>本日の協議会の日程は次第のとおりです。</p> <p>はじめに八街市地域公共交通協議会 大木会長よりごあいさつを申し上げます。</p>
大木会長	<p>2. 会長（副市長）挨拶</p> <p>会長の大木でございます。</p> <p>本日は、公私ともにお忙しい中、また年末の差し迫ったなか、令和5年度第3回八街市地域公共交通協議会にご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>さて、本市では、かねてより協議を重ねてまいりました、八街市デマンド型乗合タクシー実証運行事業が、本年10月2日より運行を開始いたしました。市民の新たな公共交通機関となるよう、引き続き検証し、持続可能な公共交通を目指します。</p> <p>本日の会議では、国の支援を受け運行しているコミュニティバス「ふれあいバス」について、国へ提出する事業の自己評価内容の説明が議題となっております。</p> <p>委員の皆様におかれましては、本市の公共交通の充実のため、ご協力を</p>

事務局	<p>賜り、様々なご意見をいただきますよう、お願い申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。 ありがとうございました。</p> <p>3. 議題</p> <p>それでは、議題に入らせていただきます。八街市地域公共交通協議会規約第9条の規定により、会議の議長は会長をもって充てることとなっていますので、議事進行については大木会長にお願いします。</p> <p>議題（1）「令和5年度（令和4年10月－令和5年9月）地域内フィーダー系統確保維持事業に係る事業評価」について</p>
大木会長	<p>始めに、議題（1）「令和5年度地域内フィーダー系統確保維持事業に係る事業評価」について、事務局より説明を求めます。</p>
事務局	<p>議題1「令和5年度（令和4年10月－令和5年9月）地域内フィーダー系統確保維持事業に係る事業評価」について、ご説明申し上げます。 右上に資料1と記載しております資料をご覧ください。</p> <p>令和4年6月13日開催の令和4年度第1回八街市地域公共交通協議会においてご承認いただき、国より計画認定を受けた令和5年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金対象事業であるふれあいバス運行事業について、令和5年9月末日をもって事業期間が終了いたしました。 それに伴いまして、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第3条第5項の定めにより、協議会が事業評価を行い、その結果を地方運輸局長に報告することとなっております。 本資料は、ふれあいバスの運行実績を踏まえ、事務局にて作成した事業評価書類であり、国土交通省関東運輸局に提出してよろしいか伺うものです。</p> <p>資料1の表紙をめくり、1枚目と2枚目が事業評価様式で、それ以降が本市公共交通及び評価対象事業の概要資料で全て提出書類でございます。 それでは評価の概要について説明いたします。1枚目の右上に別添1と記載された資料をご覧ください。</p> <p>①②につきましては運行事業者名と各ふれあいバス運行事業概要ですので説明を省略いたします。</p> <p>③の前の事業評価結果の反映状況については、前回運輸局において実施された二次評価の結果を受け、事業者と自治体との対話や、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、市ホームページ等を活用した各種イベントのPRを実施したことを記載いたしました。</p> <p>④の事業実施の適切性については、事業が計画通り実施されたかどうかを「適切に実施された」、「実施されていない点があった」、「実施され</p>

なかった」の三段階で評価を行うところ、A評価である適切に実施されたと記載いたしました。

⑤の目標・効果達成状況については、目標を達成したかどうかを「達成した」、「達成できていない点があった」、「達成できなかった」の三段階で評価を行うところ、A評価である「達成した」としました。内容としては目標として掲げていた指標①ふれあいバス年間利用者数86,000人のところ、実績では前年度年間利用者数と比較し9,279人の増加で、90,132人、指標②公共交通に係る市の年間財政負担額52,201千円のところ、実績では52,085千円と、どちらも達成しており、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、利用者が増加したことが一因と推測されます。なお、目標の達成状況による補助金額の算定等に影響はございません。

⑥の事業の今後の改善点については、本年10月2日より八街市デマンド型乗合タクシー実証運行事業の運行を開始したことに伴う、各公共交通機関への影響について、アンケート調査や引き続き乗降調査等を実施し、利用状況の分析を行い、正確なニーズ把握を行うことで利用促進を図ることとしております。

次のページをお開き下さい。右上に別添1-2と記載されている資料については、ふれあいバス運行事業について、その必要性を記載しております。

次のページをお開き下さい。3枚目以降については本市公共交通及び評価対象事業の概要資料ですので資料配付をもって説明に変えさせていただきます。

以上、議題1「令和5年度（令和4年10月－令和5年9月）地域内フィーダー系統確保維持事業に係る事業評価」につきまして説明を終わらせていただきます。

大木会長

ただいま、事務局から説明のありました「令和5年度地域内フィーダー系統確保維持事業に係る事業評価」について、質疑はありますか。

成田委員

別添1③前回の事業評価結果について、「市ホームページ等」とあるが、市ホームページ以外にどのような利用促進策を講じたのでしょうか。また、各種イベントとは何かお教えいただきたい。

更に意見として、⑥事業の今後の改善点では「利用促進を図りたい」と記載があるが、③前回の事業評価結果に基づいた詳細な記述をすべきではないか。

事務局

市ホームページ以外には、市広報紙があり、各種イベントは、福祉団体が行った夏祭りがあります。

いただいた御意見については、検討させていただきます。

高橋委員	<p>地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金については、来年度から連動化が始まり、地域公共交通計画に記載がなければ補助の対象とならなくなる。</p> <p>ちばフラワーバス（株）八街線が、利用者数等の関係で、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の対象でなくなれば、ふれあいバスも補助対象でなくなるが、その点について山武市、千葉県及び関東運輸局とすりあわせはしているのか。</p> <p>また、ちばフラワーバス（株）八街線が幹線系統として補助金の対象でなくなるのであれば、千葉県交通計画課とどのように調整していくのかお教え願いたい。</p>
事務局	<p>ちばフラワーバス（株）八街線が、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の対象でなくなる可能性について山武市と情報共有はしております。</p> <p>今後どのような対策を取るかについては、不透明な部分が多いので、具体的な対策自体は考えられておりません。</p>
高橋委員	<p>ちばフラワーバス（株）八街線が、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の対象でなくなり、交通空白地域に指定するのであれば、余裕を持って相談していただきたい。</p>
大木会長	<p>関係自治体と適切な協議を進めていただきたいと思います。</p> <p>他に質疑はありませんか。 質疑がなければ、これで質疑を終了します 次に採決をいたします。 この議題を認定することにご異議ありませんか。</p>
各委員	<p>異議なしの声多数</p>
大木会長	<p>この議題は認定されました。 事務局におかれては、速やかに国土交通省への提出を行ってください。</p>
大木会長	<p>次第４．その他 報告事項 その他（１）「八街市デマンド型乗合タクシー実証運行事業」について</p>
大木会長	<p>次に、次第４、「その他」の（１）「八街市デマンド型乗合タクシー実証運行事業」について、事務局より説明を求めます。</p>
事務局	<p>その他（１）「八街市デマンド型乗合タクシー実証運行事業」についてご説明申し上げます。資料２と記載された資料をご覧ください。</p> <p>八街市デマンド型乗合タクシー実証運行事業につきましては、本年１０月２日より運行を開始し、３か月が経とうとしていますが、実績が判明している１０月から１１月までの状況について、ご報告させていただきます。</p>

	<p>1 ページ目をお開き下さい、利用者数は、10月が219人、11月が213人、合計432人で、利用件数は、10月が573件、11月663件、合計1,236件です。 また、会員登録者数は、1,987人です。</p> <p>2 ページをお開き下さい。年代別の登録者数・利用者数・利用件数の一覧です。70歳代から80歳代の方の利用が多く、免許を返納したりして、車が利用できなくなってきた世代の利用が多い傾向にあります。</p> <p>3 ページをお開き下さい。予約方法別の予約件数ですが、高齢者の利用が大半を占めるため、ほとんどが電話での予約です。パソコンやスマートフォンを利用したインターネットでの予約はごく少数となっています。</p> <p>4 ページをお開き下さい。上段の予約時期割合ですが、当日に予約する利用者が多い傾向です。コールセンターの利用開始の時間帯は、電話がつながりにくい状況になるとのことです。 下段の曜日別平均予約件数ですが、極端に大きい差はなく、比較的火曜日と金曜日に利用者が多いです。</p> <p>5 ページをお開き下さい。上段は、乗降場カテゴリ別の利用回数・割合です。自宅を除くと、医療施設の利用が最も多いことから、病院に対するニーズが大きいことが分かります。 下段は、月別の乗合率です。1.3人程度であり、現状では夫婦や家族で乗車する機会が多い状況です。 また、八街市デマンド型乗合タクシーのパンフレット等を机上に配布させていただきましたので、ご覧いただければと存じます。 報告1の説明は以上となります。</p>
大木会長	<p>ただいま、事務局より説明のありました「八街市デマンド型乗合タクシー実証運行事業」について、質疑はありますか。</p>
成田委員	<p>八街市デマンド型乗合タクシー実証運行事業に設定された目標があればお教え願いたい。</p>
	<p>また、利用予約の際に予約が成立しなかったものほどの程度あるのかお教え願いたい。</p>
事務局	<p>利用人数は1日30～40人程度、多い時で50人程度で当初の利用予測では1日30人程度を想定しておりましたので、当初の想定よりは上回っております。</p>
	<p>目標は、1時間に1名以上乗車があり、乗り合い率1.1となっております。これを1日換算すると30人程度となります。</p>
	<p>また、登録者数についての明確な目標は定めておりませんが、高齢者外出支援タクシーの代替策として実施しており、高齢者外出支援タクシーの申込者が3,000人程度であることから、これを目標としております。</p>
	<p>予約が成立しなかったものについては、把握できておりません</p>

成田委員	<p>今後は予約が成立しなかった件数について把握するよう検討をお願いします。</p>
大木会長	<p>成田委員のおっしゃるとおり、予約が成立しなかった件数を把握しなければ、今後運行台数の増減を検討する際に支障が出てくるので、しっかりと対応願いたいと思います。</p>
高山委員	<p>乗り合いで移動することにより、安く運行ができるということについて、市民周知が必要だと考える。</p>
大木会長	<p>乗り合いについてしっかりと周知していかなければ、一般のタクシーと変わらなくなってしまいますので、やはり周知の徹底は必要だと考えます。</p>
中村委員	<p>往復での利用が多いと思われるので、実際の利用件数は半分になるのではないかと。</p>
事務局	<p>お見込みのとおりです。</p>
中村委員	<p>朝方はコールセンターへの連絡がつきづらい点については、改善していただきたい。</p> <p>また、乗り合い率は1.1を想定しているとのことだが、1.1なのであれば乗り合う必要があるのかと考えてしまうので、乗り合いについてしっかりと周知していただきたい。</p>
大木会長	<p>朝方はコールセンターへの連絡がつきづらい点については、事務局はしっかりと改善していただきたいと思います。</p>
高山委員	<p>朝方コールセンターへの連絡がつきづらいのであれば、朝方は連絡がつきづらいという周知も必要ではないかと。</p>
大木会長	<p>高山委員のおっしゃるとおりで、市民の中にはまだ八街市デマンド型乗合タクシー実証運行事業を知らない方もいますので、利用方法も含めて、周知をお願いします。</p>
村中委員	<p>利用者からは、高齢者外出支援タクシー事業があればという声もあるので、高齢者外出支援タクシー事業の復活についても検討いただきたい。</p>
大木会長	<p>外出支援タクシー事業は、免許を持たない高齢者に500円のタクシー券を一定数配布する事業であるため、利用者間格差や地域間格差があり、市民から多くの意見をいただきました。そのため、乗り合いタクシーの利用について、今後は市民の皆さまに周知していきたいと考えております。</p>
南委員	<p>予約の成功率を上げる点について、県内他市の状況をあげると、東金市では、キャンセル率を下げるということに着目して取り組んでいるので、近隣自治体と連携して、情報収集をしながら取り組んでいただきたい。</p>

松野委員	<p>本学の生徒も実住小学校の生徒と同様に学びが多く、大変勉強になったと意見をいただいている。</p>
大木会長	<p>ほかに質疑やご意見などはございますか。 質疑がなければ、これでその他（２）の報告を終了します。</p> <p>全体を通してご意見などはございますか</p>
高橋委員	<p>ドライバーの２０２４年問題について、千葉運輸支局のホームページに掲載しておりますので、ご覧いただきたい。 また、メディア等ではドライバーの２０２４年問題について、マイナスにとらえられているが、千葉運輸支局では前向きに考えて、ドライバーの魅力面などを発信している。 皆さまにおかれましても、公共交通をぜひ御利用いただければと考える。</p>
大木会長	<p>八街市デマンド型乗合タクシーについては、他の公共交通と組み合わせて利用していただくというように考えております。</p> <p>他に質問等ございますか。 ないようでしたら、進行を事務局に戻したいと思います。</p>
事務局	<p>５．閉会</p> <p>皆様、大変お疲れさまでした。 なお、本日までご出席いただいた際の報償費のお支払いにつきましては、近日中に振込を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。 以上をもちまして、令和５年度第３回八街市地域公共交通を終わります。 本日はありがとうございました。</p>